



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日
東

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所
 コード番号 7446 URL <https://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理グループ長 (氏名) 磯辺 譲 (TEL) 0172-33-8131
 定時株主総会開催予定日 2023年12月20日 配当支払開始予定日 2023年12月21日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	35,094	△6.0	750	△20.4	808	△19.4	556	△15.4
2022年9月期	37,333	3.1	944	32.4	1,003	32.2	657	27.3

(注) 包括利益 2023年9月期 691百万円(40.3%) 2022年9月期 492百万円(△36.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	617.29	—	8.1	4.4	2.1
2022年9月期	728.76	—	10.2	6.0	2.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	18,920	7,269	38.0	7,971.19
2022年9月期	17,519	6,681	37.7	7,330.63

(参考) 自己資本 2023年9月期 7,182百万円 2022年9月期 6,605百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	1,268	△335	△95	2,106
2022年9月期	886	△92	△185	1,268

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	115.00	115.00	103	15.8	1.6
2023年9月期	—	0.00	—	105.00	105.00	94	17.0	1.4
2024年9月期 (予想)	—	0.00	—	95.00	95.00		26.7	

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	△5.1	260	△51.2	285	△48.4	183	△50.1	203.10
通期	32,300	△8.0	440	△41.4	490	△39.4	320	△42.5	355.15

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
 - ② ①以外の会計方針の変更: 無
 - ③ 会計上の見積りの変更: 無
 - ④ 修正再表示: 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	960,000株	2022年9月期	960,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期	58,977株	2022年9月期	58,977株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	901,023株	2022年9月期	902,379株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	27,384	△3.4	687	△13.2	738	△12.7	495	△9.5
2022年9月期	28,359	2.1	791	33.9	845	33.5	546	28.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期	549.54		—					
2022年9月期	606.07		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2023年9月期	15,180		6,805		44.8		7,552.81	
2022年9月期	14,076		6,296		44.7		6,987.67	

(参考) 自己資本 2023年9月期 6,805百万円 2022年9月期 6,296百万円

2. 2024年9月期の個別業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	13,600	△5.7	270	△45.7	170	△49.8	188.67	
通期	24,500	△10.5	450	△39.1	300	△39.4	332.95	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の変動	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んで、景気は持ち直しに向かう動きがありました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による原材料及びエネルギー価格の高騰、米国での金融機関の破綻もあり、先行き不透明な状況が続いており、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前連結会計年度と比べ、売上高は、350億94百万円と22億39百万円（前連結会計年度比△6.0%）の減収、営業利益は、7億50百万円と1億93百万円（前連結会計年度比△20.4%）の減益、経常利益は、8億8百万円と1億95百万円（前連結会計年度比△19.4%）の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は、5億56百万円と1億1百万円（前連結会計年度比△15.4%）の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります半導体を含むエレクトロニクス産業が商品不足や中国への輸出禁止など厳しい状況が続いており、前連結会計年度を下回りました。また、同関連機器も、前連結会計年度を下回りました。この結果、売上高は、全体で171億71百万円と8億34百万円（前連結会計年度比△4.6%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、15億11百万円と72百万円（前連結会計年度比△4.6%）の減益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、競争激化の影響や新型コロナウイルス感染症関連の検査試薬が減少したことなどにより、前連結会計年度を下回りました。また、同関連機器も、前連結会計年度を下回りました。この結果、売上高は、全体で142億5百万円と14億32百万円（前連結会計年度比△9.2%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、15億12百万円と64百万円（前連結会計年度比△4.1%）の減益となりました。

(食品)

食品は、原料不足や新型コロナウイルス感染症による製造量減少などの影響がありましたが、前連結会計年度を上回りました。この結果、売上高は、33億48百万円と41百万円（前連結会計年度比1.3%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、2億60百万円と9百万円（前連結会計年度比3.6%）の増益となりました。

(その他)

その他は、花き、種苗等が減少したことにより、前連結会計年度を下回りました。この結果、売上高は、3億69百万円と14百万円（前連結会計年度比△3.7%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、59百万円と0百万円（前連結会計年度比△0.3%）の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、14億1百万円増加し、189億20百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、8億13百万円増加し、116億51百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億87百万円増加し72億69百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、136億18百万円(前連結会計年度は、127億9百万円)となり、9億9百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が7億87百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産が1億55百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、53億2百万円(前連結会計年度は、48億10百万円)となり、4億92百万円増加しました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が2億21百万円及び投資有価証券が1億99百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、108億72百万円(前連結会計年度は、100億85百万円)となり、7億87百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億22百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、7億78百万円(前連結会計年度は、7億53百万円)となり、25百万円増加しました。これは主に、長期借入金が14百万円及びリース債務が13百万円減少したものの繰延税金負債が53百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、72億69百万円(前連結会計年度は、66億81百万円)となり、5億87百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が4億52百万円及びその他有価証券評価差額金が1億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、21億6百万円と前連結会計年度末に比べ8億37百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果取得した資金は、12億68百万円(前連結会計年度は8億86百万円の取得)となりました。これは主に、売上債権の増加額2億21百万円あったものの仕入債務の増加額が8億41百万円及び税金等調整前当期純利益が8億4百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果支出した資金は、3億35百万円(前連結会計年度92百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2億48百万円及び有形固定資産の取得による支出1億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は、95百万円(前連結会計年度は1億85百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1億3百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率 (%)	36.2	38.5	38.6	37.7	38.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	19.1	21.4	19.5	16.6	17.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	△1.7	1.9	2.2	0.7	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	△361.5	223.3	307.0	504.2	568.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、ロシアウクライナ問題や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で先行きは不透明であり、当社グループに与える影響についても予想が困難であると考えられます。

当社グループといたしましては、今後とも化学工業・医療の進歩に寄与するという専門商社としての使命を自覚し、積極的な営業方針のもと、高度化・多様化するユーザーニーズにきめ細かく応えていく所存であります。

次期の業績見通しは、ロシアウクライナ問題の長期化やエネルギー等の物価上昇することを勘案して見通しを作成しております。前連結会計年度と比べ売上高が、323億円と27億94百万円(前連結会計年度比△8.0%)の減収、営業利益が、4億40百万円と3億10百万円(前連結会計年度比△41.4%)の減益、経常利益が、4億90百万円と3億18百万円(前連結会計年度比△39.4%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益が3億20百万円と2億36百万円(前連結会計年度比△42.5%)の減益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対して継続的な安定配当を維持していくことを経営の重要政策として位置づけており、今後とも株主利益率の向上を図る方針であります。また、更なる利益追求によって、株主に応えてまいります。

内部留保金につきましては、今後の事業展開に対応した財務体質の強化を図り事業拡大に努めるよう有効に活用してまいります。

当期の配当金につきましては、上記方針に従い、1株につき10円減配をして105円(期末配当105円)の配当を実施することといたしました。

次期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき95円(期末配当95円)の配当を予定しております。

(6) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,655	2,195,476
受取手形、売掛金及び契約資産	9,413,890	9,569,548
電子記録債権	297,093	362,903
商品	1,158,309	1,120,125
リース投資資産	123,287	56,576
その他	311,112	314,039
貸倒引当金	△1,750	△60
流動資産合計	12,709,597	13,618,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,789,718	1,861,747
減価償却累計額	△1,309,007	△1,323,232
建物及び構築物（純額）	480,710	538,514
土地	1,495,006	1,495,006
リース資産	307,458	302,953
減価償却累計額	△171,588	△144,857
リース資産（純額）	135,870	158,095
その他	452,572	461,674
減価償却累計額	△122,685	△123,729
その他（純額）	329,887	337,944
有形固定資産合計	2,441,474	2,529,561
無形固定資産		
リース資産	—	15,283
ソフトウェア	7,677	12,637
電話加入権	671	—
ソフトウェア仮勘定	198,245	419,885
無形固定資産合計	206,595	447,806
投資その他の資産		
投資有価証券	1,433,980	1,633,932
リース投資資産	110,231	69,413
差入保証金	551,317	553,125
その他	92,091	89,913
貸倒引当金	△25,677	△21,624
投資その他の資産合計	2,161,943	2,324,760
固定資産合計	4,810,012	5,302,128
資産合計	17,519,610	18,920,740

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,766,234	9,588,734
電子記録債務	339,170	371,971
短期借入金	170,800	233,400
1年内返済予定の長期借入金	14,280	14,280
リース債務	155,723	99,378
未払金	195,928	158,886
未払法人税等	199,147	100,298
賞与引当金	58,100	57,450
その他	185,621	248,553
流動負債合計	10,085,006	10,872,953
固定負債		
長期借入金	41,690	27,410
リース債務	214,998	201,836
繰延税金負債	228,928	282,841
退職給付に係る負債	91,554	80,365
役員退職慰労引当金	131,378	142,012
その他	44,605	44,232
固定負債合計	753,155	778,697
負債合計	10,838,162	11,651,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	4,494,215	4,946,792
自己株式	△168,907	△168,907
株主資本合計	6,026,808	6,479,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	579,755	697,779
退職給付に係る調整累計額	△1,499	5,057
その他の包括利益累計額合計	578,255	702,836
非支配株主持分	76,384	86,867
純資産合計	6,681,448	7,269,089
負債純資産合計	17,519,610	18,920,740

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	37,333,902	35,094,627
売上原価	33,860,912	31,750,175
売上総利益	3,472,990	3,344,452
販売費及び一般管理費	2,528,961	2,593,455
営業利益	944,028	750,996
営業外収益		
受取利息	2,861	3,644
受取配当金	35,827	43,328
受取手数料	10,845	12,106
雑収入	12,219	8,212
その他	2,239	192
営業外収益合計	63,994	67,484
営業外費用		
支払利息	1,757	2,231
支払手数料	2,279	2,274
雑損失	575	5,618
営業外費用合計	4,612	10,124
経常利益	1,003,410	808,356
特別利益		
固定資産売却益	26	200
投資有価証券売却益	206	—
投資事業組合運用益	1,595	—
特別利益合計	1,828	200
特別損失		
固定資産除却損	144	244
投資有価証券売却損	—	1,232
投資有価証券評価損	30,507	1,426
減損損失	—	671
ゴルフ会員権売却損	—	300
その他	—	22
特別損失合計	30,652	3,897
税金等調整前当期純利益	974,586	804,659
法人税、住民税及び事業税	292,844	237,388
法人税等調整額	372	668
法人税等合計	293,216	238,056
当期純利益	681,369	566,602
非支配株主に帰属する当期純利益	23,749	10,408
親会社株主に帰属する当期純利益	657,620	556,194

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	681,369	566,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191,807	118,024
退職給付に係る調整額	3,051	6,557
その他の包括利益合計	△188,755	124,581
包括利益	492,613	691,183
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	468,953	680,701
非支配株主に係る包括利益	23,659	10,482

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額 合計		
当期首残高	820,400	881,100	3,894,043	△133,566	5,461,977	771,562	△4,551	767,011	52,724	6,281,712
会計方針の変更による累積的影響額			38,314		38,314					38,314
会計方針の変更を反映した当期首残高	820,400	881,100	3,932,357	△133,566	5,500,291	771,562	△4,551	767,011	52,724	6,320,027
当期変動額										
剰余金の配当			△95,762		△95,762					△95,762
親会社株主に帰属する当期純利益			657,620		657,620					657,620
自己株式の取得				△35,340	△35,340					△35,340
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△191,807	3,051	△188,755	23,659	△165,095
当期変動額合計	—	—	561,857	△35,340	526,516	△191,807	3,051	△188,755	23,659	361,421
当期末残高	820,400	881,100	4,494,215	△168,907	6,026,808	579,755	△1,499	578,255	76,384	6,681,448

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額 合計		
当期首残高	820,400	881,100	4,494,215	△168,907	6,026,808	579,755	△1,499	578,255	76,384	6,681,448
会計方針の変更による累積的影響額										—
会計方針の変更を反映した当期首残高	820,400	881,100	4,494,215	△168,907	6,026,808	579,755	△1,499	578,255	76,384	6,681,448
当期変動額										
剰余金の配当			△103,617		△103,617					△103,617
親会社株主に帰属する当期純利益			556,194		556,194					556,194
自己株式の取得										
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						118,024	6,557	124,581	10,482	135,063
当期変動額合計	—	—	452,577	—	452,577	118,024	6,557	124,581	10,482	587,640
当期末残高	820,400	881,100	4,946,792	△168,907	6,479,385	697,779	5,057	702,836	86,867	7,269,089

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	974,586	804,659
減価償却費	91,550	79,809
減損損失	—	671
投資有価証券評価損益 (△は益)	30,507	1,426
投資有価証券売却損益 (△は益)	△206	1,232
固定資産売却損益 (△は益)	△26	△200
固定資産除却損	144	244
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,595	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	179	△5,743
賞与引当金の増減額 (△は減少)	650	△650
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,855	△1,754
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,836	10,634
受取利息及び受取配当金	△38,689	△46,972
支払利息	1,757	2,231
売上債権の増減額 (△は増加)	△985,707	△221,402
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△127,877	38,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,025,030	841,319
その他	107,526	54,452
小計	1,081,811	1,558,142
利息及び配当金の受取額	38,690	46,969
利息の支払額	△1,757	△2,231
法人税等の支払額	△232,622	△334,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	886,122	1,268,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,470	△100,733
有形固定資産の売却による収入	154	200
無形固定資産の取得による支出	△47,860	△248,910
投資有価証券の取得による支出	△28,998	△42,886
投資有価証券の売却による収入	255	8,767
投資事業組合からの分配による収入	1,788	—
定期預金の預入による支出	△139,202	△89,202
定期預金の払戻による収入	139,201	139,202
貸付金の回収による収入	320	120
保険積立金の解約による収入	4,217	△4,061
その他	1,583	2,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,009	△335,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,255,000	2,512,000
短期借入金の返済による支出	△2,240,400	△2,449,400
長期借入金の返済による支出	△14,280	△14,280
自己株式の取得による支出	△35,340	—
リース債務の返済による支出	△55,009	△40,331
配当金の支払額	△95,611	△103,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,642	△95,518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	608,470	837,821
現金及び現金同等物の期首残高	659,982	1,268,452
現金及び現金同等物の期末残高	1,268,452	2,106,274

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社である東北システム株式会社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結し、2023年4月1日付で吸収合併いたしました。

(1) 取引概要

①被結合当事企業の名称及び当該事業の内容

被結合当事企業の名称 東北システム株式会社

事業の内容 化学工業薬品、臨床検査試薬及び関連機器の販売

②企業結合日

2023年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、東北システム株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

東北化学薬品株式会社

⑤その他取引の概要に関する事項

東北システム株式会社を吸収合併することにより、経営の効率化を図ります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品・食品関連機器、農薬・農薬関連機器の販売を行っており、商品別に営業グループを置き、各営業グループは、取扱う商品について戦略を立案し、営業活動を展開しております。従いまして、当社の報告セグメントは「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「食品」「その他(農薬)」から構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

なお、当社グループでは事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,005,751	15,637,986	3,306,525	383,638	37,333,902	—	37,333,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,005,751	15,637,986	3,306,525	383,638	37,333,902	—	37,333,902
セグメント利益	1,584,421	1,577,069	251,390	60,107	3,472,990	—	3,472,990

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,171,570	14,205,429	3,348,048	369,579	35,094,627	—	35,094,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,171,570	14,205,429	3,348,048	369,579	35,094,627	—	35,094,627
セグメント利益	1,511,820	1,512,169	260,536	59,925	3,344,452	—	3,344,452

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	7,330円63銭	7,971円19銭
1株当たり当期純利益	728円76銭	617円29銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	657,620	556,194
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	657,620	556,194
普通株式の期中平均株式数(株)	902,379	901,023

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

2023年12月20日付で予定されている役員の変動は以下のとおりです。

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

1. 新任監査役候補

常勤監査役 松田 啓嗣

社外監査役 仙波 靖雄

新任監査役候補者略歴

氏名 松田 啓嗣 (1967年8月9日生 56才)

略歴 1991年4月 当社入社

2013年10月 当社仙台支店営業第四グループ部長代理兼新規事業担当

2014年4月 当社仙台支店営業第四グループ部長兼新規事業担当

2017年12月 当社執行役員仙台支店営業第四グループ部長兼新規事業担当

2020年1月 当社執行役員八戸支店長兼新規事業担当

2022年10月 当社執行役員八戸支店長兼八戸支店営業第四グループ部長

2023年10月 当社執行役員八戸支店長兼八戸支店インダストリー営業グループ部長(現任)

氏名 仙波 靖雄 (1959年10月3日生 64才)

略歴 1984年4月 三菱化成工業株式会社入社

2005年4月 三菱化学株式会社イメージング事業部長

2008年11月 三菱ケミカル・イメージング代表取締役社長

2012年5月 三菱化学株式会社イメージング事業部長

2014年4月 同社理事

2015年11月 三菱ケミカル・ヨーロッパ代表取締役社長

2018年4月 株式会社三菱ケミカルホールディングス理事役・監査室長

2020年10月 三菱ケミカルホールディングス・アジアパシフィック代表取締役社長(現任)

(注)新任監査役候補の仙波 靖雄氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

2. 退任予定取締役

社外取締役 伊藤 英治

3. 退任予定監査役

常勤監査役 築館 宏治

社外監査役 永富 明郎